



リモコン防犯灯 SPR-5型

取付説明書

施説No. HHLATKCF50-S3A

お願い

施工時、ご使用前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

安全上のご注意

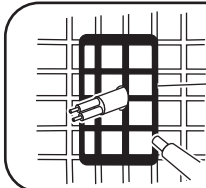
必ずお守りください

警告

■ 器具の取り付けは、説明書に従い 確実にを行う

取り付けに不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

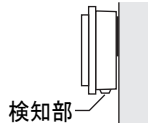
■ タイル面など取り付け面に凹凸がある場合は、すき間を埋める 本体パッキンと取り付け面とのすき間を 防水シールなどで埋めてください。



パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。

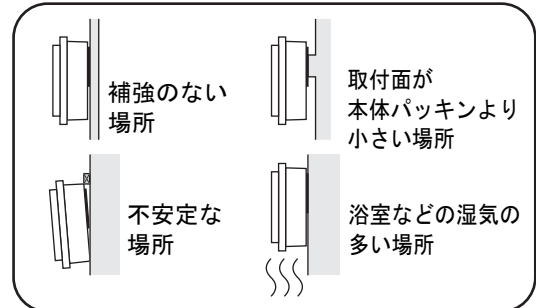
● 防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

■ 検知部が下になるように取り付ける 守らないと浸水による 感電のおそれがあります。



■ 交流100ボルトで使用する 過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■ 次のような場所には取り付けない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



● この器具は壁面取付専用防雨型です。 (防湿型ではありません。)

■ 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に 行う 接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。



アース線接続

注意

■ 器具に表示された周波数で使用する 守らないと、火災の原因となることが あります。

■ 温度の高くなるものの上に取り付けない 火災の原因となることがあります。 ● ガス機器や排気筒の上に取り付けしないでください。

■ 調光器と組み合わせて使用しない 調光機能が付いた壁スイッチなどと組み 合わせて使用すると、火災の原因となることが あります。 ● 調光器の取り外しが必要です。

必ず守る



禁止



禁止

この紙は再生紙を使用しています。

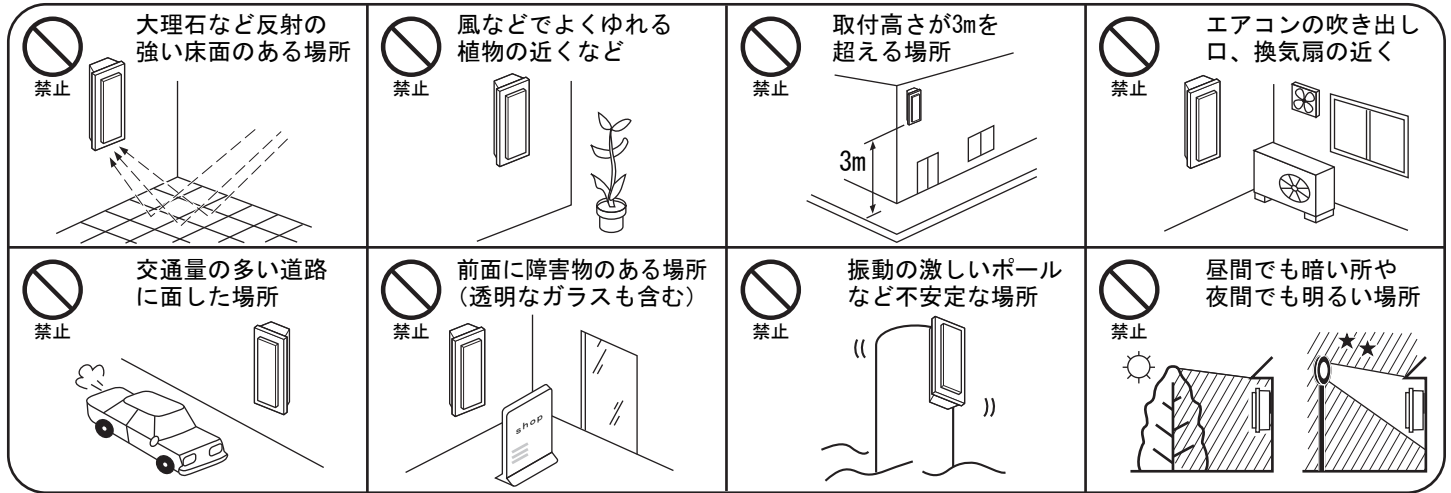
Z316_200702A

施工前にお読みください

設置場所についてのご注意

● 次のような場所には取り付けないでください。

この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。



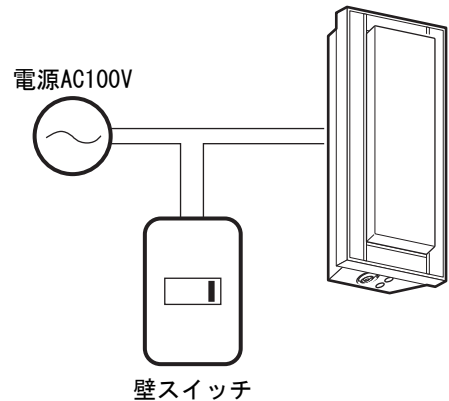
配線についてのご注意

● 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)

● 壁スイッチを設けないと……

- ・点灯に異常が発生したときに、リセットできません。
- ・長期の旅行時などに、電源を切ることができません。

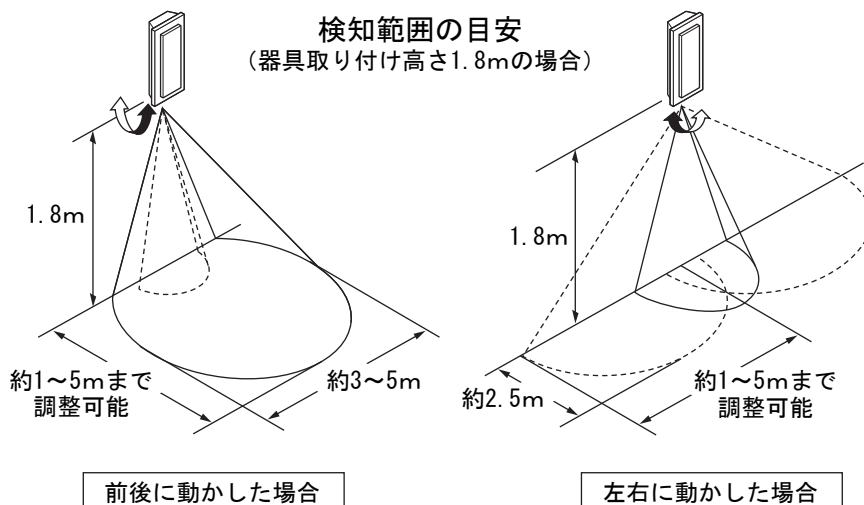
● 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)



センサの検知範囲

● センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。(センサの検知部は全方向に約20度動きます。)

● 器具の取り付け高さ1.8m(標準)~3mの間では、検知範囲は変わりません。

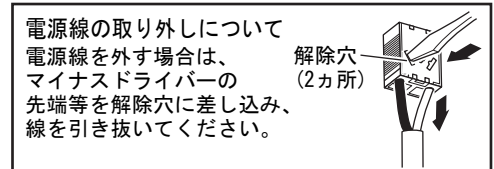
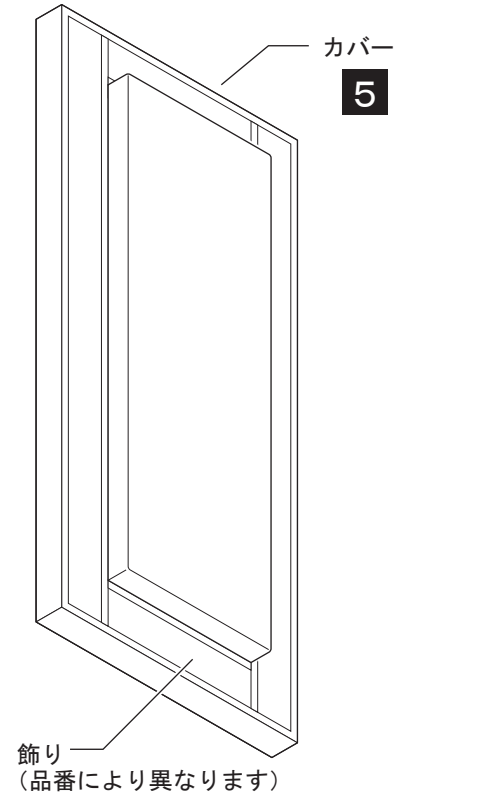
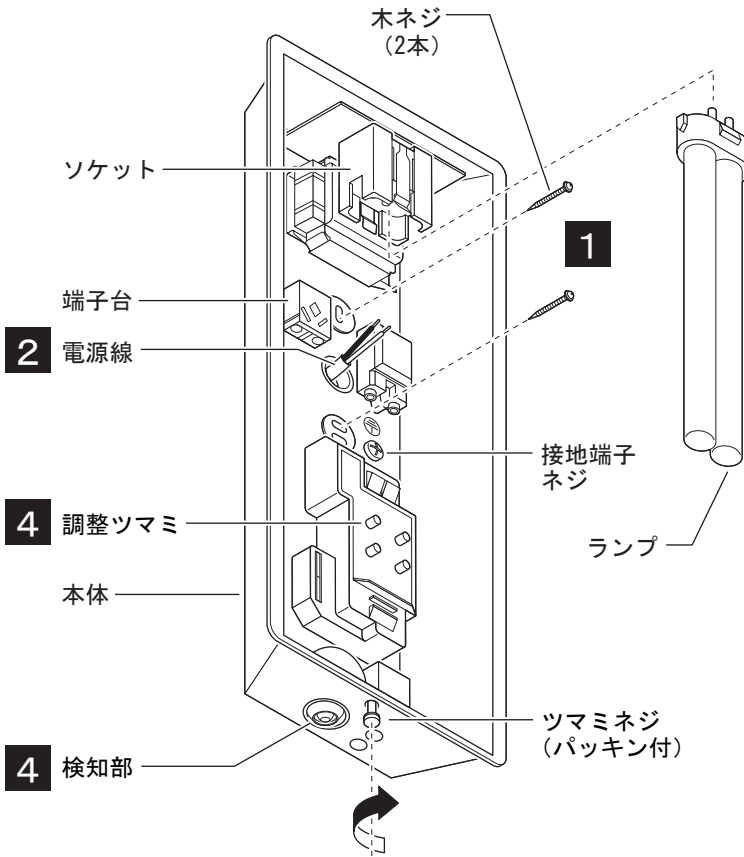
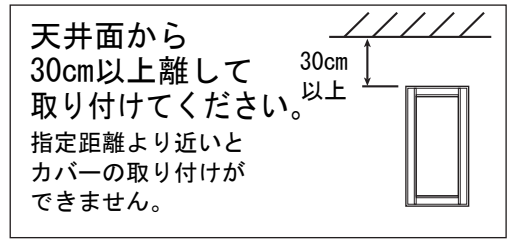
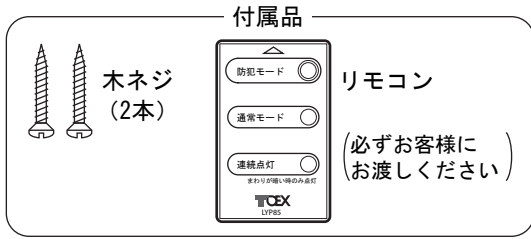


ご注意

- ・ この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物・自動車など人以外の動きも検知して点灯する場合があります。
- ・ 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- ・ センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。器具の故障ではありません。
- ・ 静止している人は検知しません。

調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。



1 付属の木ネジ(2本)で本体を取り付ける
・取付ピッチ : 66.7mm, 83.5mm

2 端子台に電源線を接続する

電源線にポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用の場合、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで保護してください。

・適合電線 VVF φ1.6、φ2.0単線
・接地端子ネジからD種(第3種)接地工事を行ってください。

端子台

電源線

12mm

確実に差し込む

3 ランプを取り付ける

ソケット

ランプ

確実に差し込む

4 検知範囲と調整ツマミを設定する
(次ページ参照)
・カバーを取り付ける前に必ず行ってください。

5 カバーを取り付ける

① 本体上部にカバーの引掛金具を引掛ける
② ツマミネジ(パッキン付)を締め付ける

引掛金具

カバー

本体

ツマミネジ
(パッキン付)

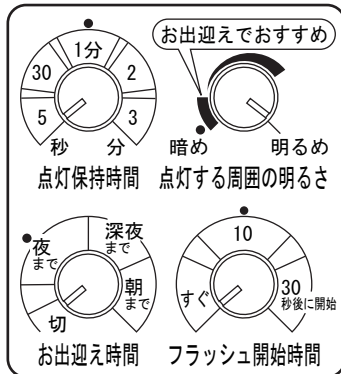
設定の前に

- ①壁スイッチをOFFにする
- ②カバーを取り外す

1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

[手順]

- ①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



- | | | |
|------------|----|------------------|
| 点灯保持時間 | —— | 「5秒」(左いっぱい)に回す) |
| 点灯する周囲の明るさ | —— | 「明るめ」(右いっぱい)に回す) |
| お出迎え時間 | —— | 「切」(左いっぱい)に回す) |
| フラッシュ開始時間 | —— | 「すぐ」(左いっぱい)に回す) |

- ②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

- ・検知部は、全方向に約20度動きます。
- ・センサの検知範囲は、➡2ページ「センサの検知範囲」をご参照ください。

- ③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

⇒約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は以下の原因が考えられます。

- | | |
|------------------------------|--|
| ・お出迎え時間が「切」になっていない | ⇒ お出迎え時間を「切」にする |
| ・センサの検知範囲に入っている | ⇒ センサの検知範囲から外に出る |
| ・連続点灯になっている
(検知部が赤く光ったまま) | ⇒ 壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて
再び壁スイッチをONにする |

- ④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

- ・点灯保持時間 —— 「1分」がおすすめです
- ・点灯する周囲の明るさ —— 「暗め」がおすすめです
- ・お出迎え時間 —— 「夜まで」(約22:00)がおすすめです
- ・フラッシュ開始時間 —— 「10秒後」あるいは「30秒後」がおすすめです

(注) 動作の詳しい説明は

取扱説明書 ➡4ページ「おすすめの使いかた」をご参照ください。

3 カバーを取り付ける

➡3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

4 壁スイッチをONにする

⇒壁スイッチをONにした直後は、
周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意 ●お出迎えモードに設定した場合
壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定
した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なく
お出迎え点灯は約4時間で終了します。
翌日より設定した時刻通り終了します。

取説コード

Z316

200702A_1009